

学校の教育目標	未来志向で考え行動・挑戦する児童の育成 【めざす児童像】 ○自分で考え、行動できる子 ○相手の立場を理解し、互いに協力し合う子 ○見通しをもって、挑戦しようとする子 ○学校や地域を愛する子	経営理念	チーム風早小で進める学校運営 ① チャレンジ……………目標に向かって挑戦する児童・教職員 ② チェンジ……………アンテナを張り、時代を読み、変革する教職員 ③ コミュニケーション……………学校・家庭・地域が一体となり前進するコミュニティ・スクール
---------	--	------	--

評価計画					自己評価				改善方針	学校関係者評価 ※学校の自己評価に対する評価				
中期経営目標	短期経営目標	評価項目・指標	目標値	目標達成のための具体的な方策	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	改善方針	評価			コメント
					10月	2月					A	B	C	
確かな学力	○自ら学びを調整し、挑戦する児童の育成 ○確かな学力の定着	・児童が「問い」を生成する力の育成 ・研究を支える教材研究の充実と授業改善 ・基礎学力の向上	80% 80点 80%	・土台となる学級づくりや学習規律の確立 ・教材研究の充実 ・校内研修の活性化 ・「本物」の多角的な提示 ・思考を揺さぶる比較検討の場面や考えを共有する場面の設定 ・ICTの効果的活用 ・読書の奨励										
豊かな心・たくましい体	○自他を尊重し、協働できる児童の育成 ○健康でたくましい心と体の育成	・風早プライド(挨拶・返事・掃除)の徹底 ・認め合う人間関係づくり ・基本的生活習慣の確立 ・基礎体力の向上	85% 80% 80%	・挨拶についての児童アンケート結果において肯定的回答85%以上 ・生活習慣アンケート(睡眠時間やSNSに係る時間を守っている児童)80%以上 ・新体力テストの課題種目で自己記録を更新できた児童80%以上										
開かれた学校づくり	○コミュニティ・スクール(C.S)の充実による学校、地域への愛着と誇りの育成	・母校・地域に愛着と誇りをもつ児童の育成 ・地域資源の教材化(「本物」との出会い)	90%	・地域や専門家を『本物』のMTとして招く授業を、各学年で年間1実践以上開発・実施 ・C.Sの校内研修を実施 ・C.S連絡会の定例化 ・学校運営協議会による熟議										
持続可能な学校経営	○働き方改革と業務改善の推進	・教職員が健康で働き甲斐のある職場づくり	80%	・仕事の見通しと優先順位をつけた計画的・効率的な職務遂行 ・教材研究や児童に向き合う時間を確保するための業務改善										

評価★ 4…目標を上回って達成(5/6学級以上) 3…目標どおりに達成(4/6学級) 2…目標をやや下回って達成(3/6学級) 1…目標をかなり下回って達成(2/6学級以下)

評価 4…目標を上回って達成(110%~) 3…目標どおりに達成(90%~110%) 2…目標をやや下回って達成(70~90%) 1…目標をかなり下回って達成(~70%)